

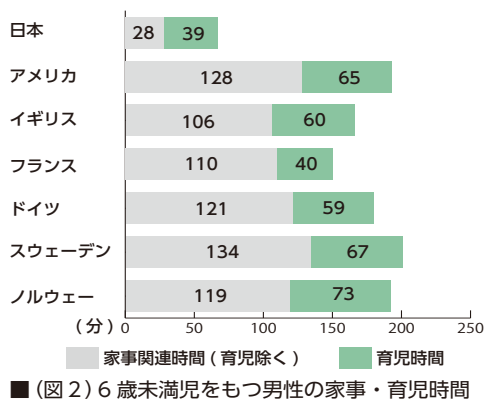


# パパ、大丈夫!?

## ママの笑顔が減っていませんか

男女共同参画社会を実現するためには、男女が地域や家庭に参画しやすい環境づくりが求められます。

今回は、女性に負担が偏りがちな子育て時期に注目し、男女ともに家庭生活を充実させるためのヒントを探ってみます。  
問い合わせ 地域づくり課へ



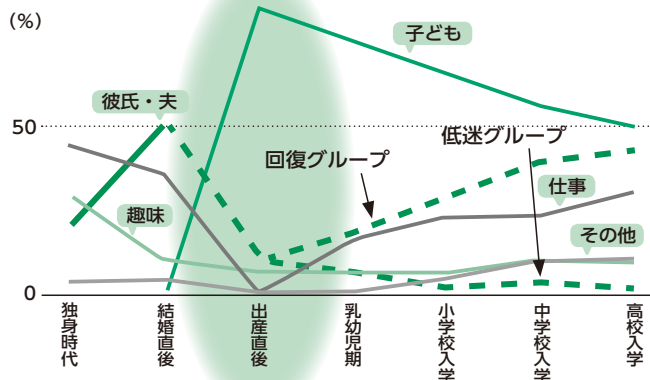
**男性の育児と女性の愛情曲線**

「女性の愛情曲線は、夫が一緒に子育てするかどうかで明暗が分かれる」という言葉を耳にしたことはありますか。(図1)によると、女性の夫に対する愛情は、結婚直後は高いものの、出産すると子どもへの愛情が高くなり、夫への愛情が低下しています。

愛情を注ぐ対象が増える出産直後に夫への愛情が低下することは仕方ありませんが、大切なのはその後です。苦勞の多い子育て時期に一緒に子育てをした夫への愛情は回復し、家事や育児と一緒にしなかつた夫への愛情はなかなか回復しません。

このように、女性の愛情が回復するか低迷するかどうかは、夫が

### この時期が重要!!



■ (図1) 女性の愛情曲線  
(東レ経営研究所ダイバーシティ&ワークライフバランス研究部長 渥美由喜著「夫婦の愛情曲線の変遷」から作成)

近年「イクメン」などの言葉が定着し、家事や育児に積極的に関わる男性も増えているように思えます。しかし、日本の男性の家事・育児時間は、平均で1日1時間程度とほかの国に比べて圧倒的に少ない状況です。(図2)

また、町が平成26年に行った岡垣町男女共同参画に関する意識調査では「家事は男女ともに行う」「手の空いている方がすれば良い」

### 家事・育児の実状

どのくらい家事や育児を行うかによって左右されるのです。

顔には出さない

# ママの本音

## 男性が家事をすると なぜ褒められるの?

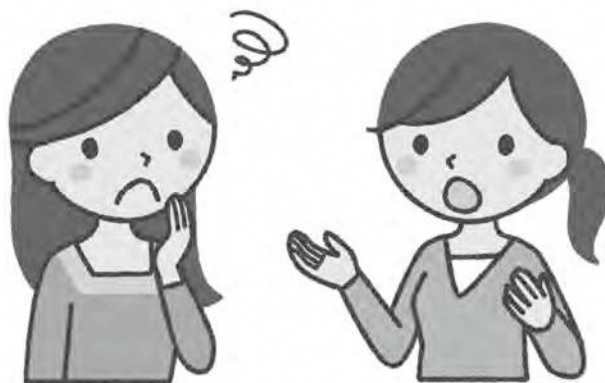
女性がすると当たり前なのに、  
男性がすると周りの人から褒め  
られるのは納得いかない。

## 「何か手伝おうか?」は NGワード!

二人の問題なのに「手伝う」と言  
うのはおかしい。あなたの仕事  
でもあるのよ!とってしまう。

## 一人で過ごす自由な 時間が欲しい

ずっと子どもと一緒にいるから  
たまには夫に子どもの面倒  
を見てもらって、ゆっくり過  
ごしたい。



## 共働きなのに私だけが 家事や育児をするの?

できる方ができるときにする  
と約束したけど、結局家にいる  
時間が長い私だけがしている。

## 専業主婦だから家事や 育児を頼みづらい

仕事で毎日遅く帰ってきて疲  
れているだろうと思うと、家  
事や育児を頼みづらい。

ママの思いは? パパの思いは?

子育てはパパとママの共同作業  
です。また、夫婦共働きの家庭が  
増えている中、子育て中のママが  
働き続けるためにはパパのサポー  
トが欠かせません。

パパの家事・育児時間が少ない  
ことがママの負担を大きくしてい  
るという一面もありますが、ママ  
にとっては、自分ばかりが苦勞し  
ていると感じてしまう精神的な負  
担の方が大きいかもしれません。  
ママの笑顔が減っているとき  
は、パパに助けを求めているので  
はないでしょうか。

では、パパは育児をしたくない  
のでしょうか。もっと育児をした  
いのには仕事の帰りが遅かったり、  
育児のための休暇を取りにくかつ  
たりと、さまざまな理由からそれ  
ができない状況もあるようです。

パパとママが協力して育児を行  
うためには、それぞれの力だけで  
なく、勤めている企業や周囲の人  
が理解を深め、子育てしやすい環  
境を整える必要があります。





(左から) 船越正幸さん、山田修平さん、佐々木智英さん、石堂徹さん、宗藤貴之さん

企業も家事・育児を応援しています

# 働きながら取り組める環境

最近では、社員の家事・育児への参加に理解を示し、応援する企業も増えています。  
ここでは、町内にある株式会社中島ターレットで働くイクメンパパを紹介します。

慣れるまでは大変だけど、子どもと過ごす時間は楽しいです。

— 皆さんのどのような家事や育児をしていますか

**船越** 朝食作りや幼稚園への子どもの迎えなどを行っています。共働きなので、妻の帰りが遅いときは夕食も作りますよ。  
**石堂** 私の妻は専業主婦ですが、育児も大変だと妻に言われるので、できる限り協力しています。私の担当は、子どもの風呂、歯磨き、寝かしつけ。子どもから私じゃないと嫌と言われると、たまらなくかわいいですね。  
**佐々木** 皆さん結構していますね。私は何をすればいいか妻に聞いて、お互いに協力していますね。  
**—では、家事・育児で大変な**

— ことや楽しいことを教えてください

**山田** 子どもが小さいので言葉が通じないことが大変ですが、通じたときはうれいすね。  
**宗藤** 私は上の子どもが中学生なので、一緒に遊ぶことも少なくなりました。一緒に遊べる時期が一番楽しいので、皆さんにはその時期を楽しんでほしいです。  
**— 育児のために休暇などを利用していますか**  
**船越** 平日に参観日があれば、休暇を利用して見に行っています。  
**石堂** 私は2人目の子どもが生まれたときに、1人目の子どもの世話で有給休暇を取得

— 育児のための休暇への周りの理解はどうですか

しました。  
**佐々木** 普段から家族ぐるみで出掛けたり、子どもの話をしたりしているので理解してくれますよ。  
**全員** とても休みやすい環境です。  
**—最後に、今一番の楽しみは何ですか**  
**山田** 仕事から帰って玄関を開けると「パパおかえり」と子どもが来てくれることです。  
**宗藤** 私も楽しみは子どものことです。今年は高校受験を迎えるので大変ですが、人に迷惑をかけない大人に育てほしいと思っています。



**株式会社中島ターレット**  
創業から51年、「至誠」という社訓を掲げ精密機器の部品製作を行っている。  
社員数：102人  
主な取り組み：  
○週2回のノー残業デー  
○年次休暇の取得推進



夫婦で話し合い、見つけよう

# 我が家に合う家事・育児

私生活と仕事を充実させよう

「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を聞いたことはありませんか。私生活が充実することで仕事があまく進み、仕事の調子が良いから私生活も楽しめるといって「仕事と生活の調和」のことを言います。仕事と私生活をバランスよく充

実させるためには、夫婦の協力はもちろん、企業の応援も必要です。最近では、4ページのよう社員の仕事・育児への参加を応援する企業が増えていて、町内にもノー残業デーや子どもへの授業参観休暇、短時間休暇などの制度を設けている企業があります。

また、さまざまな条件はありますが、男性も育児休暇を取ることができます。これらの制度もうまく活用し、私生活と仕事を充実させましょう。

かけがえのない時間を  
笑顔で過ごすために

女性が感じている精神的な負担を解消すること。これが、男性の育児参加の一番大きな効果と言えるかもしれません。そうして母親に心の余裕が生まれれば、子どもの笑顔が生まれ、家族全員の笑顔につながり、仕事も家庭も充実した好循環が生まれるのではないのでしょうか。

「今」という時間は、二度と訪れ

## 取り組んでみよう

### まずは簡単なことから

- 小さい子どもにご飯を食べさせる
- 子どもと一緒に風呂に入り、あがったら寝間着を着させる

### 慣れたらステップアップ

- 休日に朝食を作る
- 掃除や洗濯、皿洗いなどの家事をする
- 子どもを定期健診に連れて行く
- 子どもが体調不良のときは病院に連れて行く

#### POINT

子どもの世話や食事作り、皿洗いなどをしたあと、片付けも行うとさらにGOOD!



ません。そのときにしか味わうことのできない育児の楽しみがあるのです。男性が家事や育児に関する時間を大幅に増やすことは難しいかもしれませんが、仕事が忙しいからと育児に参加しないのではなく、お互いに無理せずできることを夫婦で話し合ってみてください。そして、それぞれの家庭に合った分担方法で家事や育児に取り組んでみてください。



男女ともに充実した生活を送るためには、あらゆる負担が一方に偏らないようにすることが大切です。家庭によって異なる生活スタイル。それぞれに合う分担方法を見つけてください。